

# いわせほっとニュース

<http://www.iwase-hp.jp/> 発行日 2017年1月20日

〔公立岩瀬病院の基本理念〕

患者さん中心の医療を実践し、地域の皆さんに信頼される病院をめざします。



南棟(新棟)が加わった当院全景

## 目次

- |                                    |                                     |
|------------------------------------|-------------------------------------|
| ◆ 新年のごあいさつ.....2                   | ◆ 手洗い・咳エチケットで<br>インフルエンザ予防.....5    |
| ◆ Dr's Cafe<br>「泌尿器科ってどんな科？」.....3 | ◆ クリスマスソング届け隊.....5                 |
| ◆ 産科婦人科診療棟建設工事.....4               | ◆ 病院用語ナビ<br>『サービス付高齢者向け住宅(サ高住)』...6 |
| ◆ 慢性腎臓病(CKD)について②.....4            | ◆ 健康レシピ.....6                       |
| ◆ シリーズ チーム医療 ⑫.....5               |                                     |



## 新年のごあいさつ



### 企業長 伊東 幸雄

新年あけましておめでとうございます。  
今年4月には、「安心して子供を産み育てることのできる地域づくり」のため取り組んできました「産科婦人科」の開設が実現の運びとなります。当事業に対する皆様のご支援ご協力に感謝申し上げます。

引き続き地域医療を取り巻く環境は、2025年問題を背景に厳しさを増してきていますが、現在、平成29年度を初年度とする「新たな公立岩瀬病院改革プラン」の策定を進めており、「福島県地域医療構想」を踏まえた病院機能の在り方や「地域包括ケアシステム」への対応、更には「経営基盤の強化」などを中心課題とした今後の病院運営の指針として取りまとめて参ります。

地域の中核病院として地域と連携しながら諸課題と向き合い、地域医療を守るため本院の役割を果たす決意ですので、今年もよろしくお願いいたします。



### 院長 三浦 純一

あけましておめでとうございます。  
爽やかな新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。明治5年に創立された公立岩瀬病院は本年で146年目を迎えます。ずっと地域の皆様に支えられて地域医療を継続してきました。年頭にあたりまして、あらためて感謝申し上げます。

当院は、4月3日の開設を予定した産科婦人科病棟を建設しております。工事は順調に進んでおり、医師を始めとした周産期医療に向けたスタッフが4月に向けて鋭意準備を進めています。

私たちは地域の子供を産み育てる環境を支えるために、長年にわたり努力を継続してきました。それが、ようやく形になりそうです。今後とも公立岩瀬病院をよろしくお願いいたします。



### 副院長兼看護部長 安達 恵美子

新年あけましておめでとうございます。  
皆様には格別なご高配を受け賜り、ありがたく厚く御礼申し上げます。

本年度、病院にとりまして、新たな年を迎えることになりました。これまで、地域から求められ準備を整えて参りました「産科婦人科・NICU」の立ち上げにあります。10年前に産科を閉じざるを得ない状況があり今日に至っていますが、この開設に向け地域と共に準備を進めて参りました。これからは、産み育てる環境の構築と共に地域に選ばれる病院としての役割を果たし、より良い医療・看護を提供していきけるよう努力していきたいと思っております。

新たな年を迎えてますます厳しい医療状況ではありますが、地域の皆様の健康に携わりお力になれるよう精進して参りたいと思っております。

本年もよろしくお願いいたします。

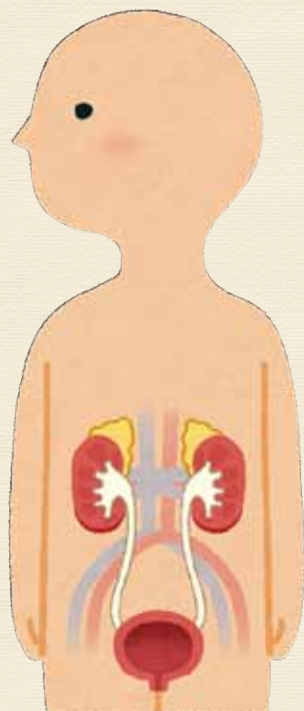




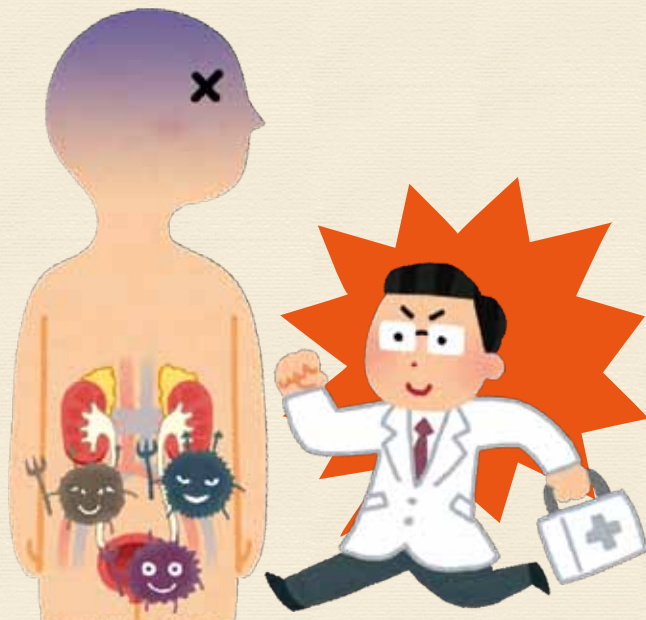
## 泌尿器科ってどんな科？

「泌尿器科って、性病科？」と聞かれた経験があります。一般の方や外来の患者さん、入学してまもない医学生から聞かれたこともあります。

泌尿器科で診療するいわゆる「性病」、男性の急性尿道炎は、全診療のごく僅かにすぎず、女性の性病は婦人科で、尖圭コンジローマなどは皮膚科で治療しているにもかかわらず、泌尿器科＝性病科というイメージが今も残っていることを残念に思うことがあります。この理由として、泌尿器科の診療内容が一般の方に見えにくい、名前からイメージしにくい、様々な病態や疾患を扱っているために逆にわかりにくい、広報活動に関する泌尿器科医の努力不足（まだ、泌尿器科医が主役のテレビドラマがない？）などあるのかもしれませんが。



泌尿器科の診療は、幾つかの分野に分かれます。なかでも大きな比重を占める疾患は、やはり悪性腫瘍になります。最近の高齢化社会や診断技術の向上によって、前立腺癌や膀胱癌、腎癌などが見つかる機会が増えています。さらに、様々な医療技術や治療法が臨床応用され、診療内容も



複雑化しています。泌尿器科で扱う悪性腫瘍は、手術のみならず放射線や抗がん剤、ホルモン療法、分子標的薬、免疫療法などを駆使して治療してゆくことが求められ、これらの治療法の適応、つまり「さじ加減」が重要になってきます。手術に関しても、古典的な低侵襲手術である経尿道的な膀胱・前立腺手術（TUR）や対外衝撃波結石破碎術に、最近では腹腔鏡での腎・膀胱・前立腺手術、経膈的な尿失禁防止術、尿路結石や前立腺肥大症のレーザー手術、ロボット支援下手術など多岐にわたる低侵襲手術が登場しています。これらの選択肢のなかから患者さんの病状に最適な治療方針を立てることも泌尿器科医としての醍醐味の一つと言えます。

患者さんごとの病状や要望を配慮して、最適で良質な治療を提供できるよう目指しています。泌尿器疾患でお困りの患者さんがおりましたら、お気軽にご相談ください。





# 「産科婦人科診療棟」建設工事の進捗状況



病院建設対策室 鎌田大輔

産科婦人科診療棟（仮称）増築工事として進めてきました建物の名称が決定しました。既存の「病棟」「外来棟」に次いで、名称は「南棟（みなみとう）（産科婦人科）」です。完成は2月です。よろしくお願いします。

施設の内容についてご紹介します。

施設は産科婦人科の外来や病棟、分娩室などのほか、新生児の集中治療室（NICU）や回復治療室（GCU）を備えています。

外観は、新たな生命の誕生を、出航する船にイメージするとともに、既存施設と調和する色彩や材料を使用しています。機能的にも2階と3階が渡り廊下で接続され、人の行き来や電気、通信、水、熱源などの供給路となります。

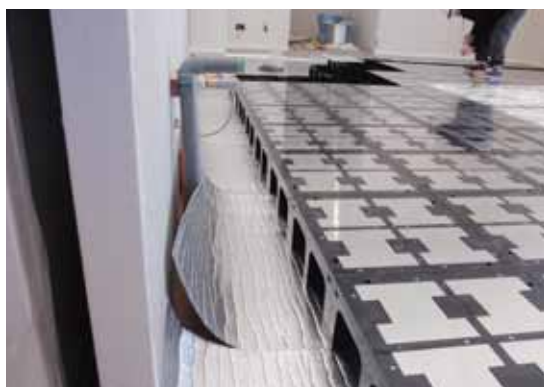
各階廊下の壁面は、自然素材の珪藻土塗りを基調に、要所には手作りの陶器で木々や小動物、多様な文様をあしらひ、来院者を温かく迎え、ほっこりする優しさを演出しています。玄関や通路には木板張りや木製格子の軒天とし、病院での緊張を和らげる雰囲気を作りしました。

病室は、シャワー室などを備えた個室を多く配置し、利用者に優しい床輻射方式の冷暖房としています。新生児集中治療室は、十分な広さを確保し、室内全体の照明には、時刻で明るさや色合いを変化させ1日の生活リズムがわかる照明システムを導入しています。

このほか建物全体の防災、防犯システム、救急対応など安全、安心の設備を設置しています。また、須賀川市地域医療を守る市民基金からの支援を受け、お産や育児、医療に関する情報コーナーを整備するなど、多くの特徴を備えています。

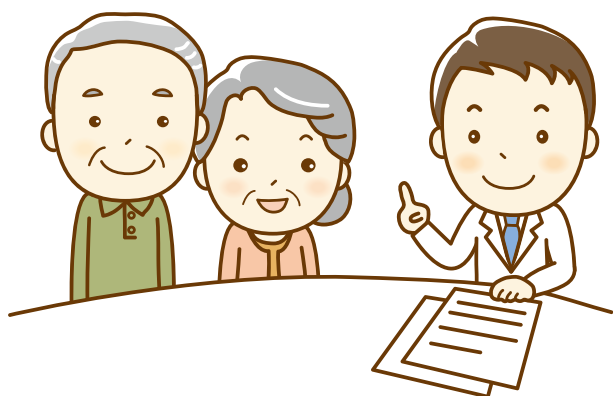
建物完成に続き外構設備の整備後には、順次、建物1階の新しい歩行者通路や駐車場（約20台）の利用ができるようになります。また3月中旬には、新しい施設を見学、体験していただく内覧会なども企画しています。

本年4月の診療開始に向けて、職員が力を合わせて頑張っています。これからも皆様のご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いします。



## 慢性腎臓病（CKD）について②

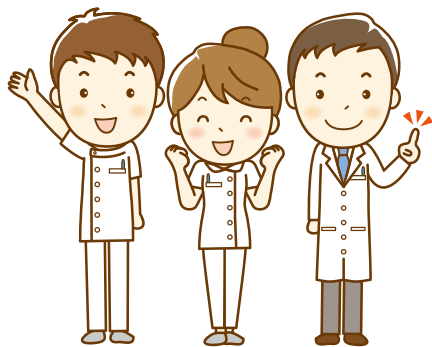
透析看護認定看護師 大星知佳



今回は腎臓病に気付くためのお話です。腎臓病の初期の段階は自覚症状がありません。まず、健康診断を受けて頂く事です。一般的な健康診断で行われている検査で、慢性腎臓病（CKD）の早期発見の重要な手がかりになります。尿検査や血液検査で腎臓の働きを数値的に確認することが出来ます。超音波検査や腹部CTなどで腎臓の形や大きさ、合併症の有無を調べます。腎生検は、腎臓の組織を顕微鏡で検査して正確な診断をします。

自覚症状がなくても健康診断で尿蛋白、尿潜血が指摘されましたら、内科を受診してください。見た目で見える血尿の場合は、泌尿器科を受診して下さい。

シリーズ チーム医療 ⑫ 『自分の科から見るチーム医療について』



4病棟 伊藤 恵美

4病棟は、外科病棟(主に消化器)です。  
毎週、医師、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー、栄養士、リハビリテーションのスタッフ等でカンファレンスを行い、患者さんの回復の促進や患者さん・家族の希望に沿えるように各々の立場から意見を交換しています。  
今後も、患者さん・家族の方が安心して手術を受け、退院の際は、生活を送るうえで少しでも不安や不便さを感じないように支援してまいります。

手洗い・咳エチケットでインフルエンザ予防



今年もインフルエンザが流行する時期になりました。国立感染症研究所によりますと、今年は、例年に比べ流行入りが早まっています。

インフルエンザの感染は、感染した人が咳をすることで飛沫に含まれるウイルスを別の人が口や鼻から吸い込んでしまう飛沫感染と、感染した人の飛沫や鼻水がドアノブなどに付着しそれを別の人が手で触れ、さらにその手で鼻、口に触れることで粘膜を通じて感染する接触感染があります。インフルエンザを予防するためには、早めの予防接種や手洗いをこまめに行い、咳や鼻水が出るときは必ずマスクを着用するといった咳エチケットを実施します。咳エチケットを心掛けることは、周囲にウイルスをまき散らさない効果があるだけでなく、周りの人を不愉快にさせないためのマナーにもなります。

インフルエンザの感染を広げないために、一人一人がインフルエンザに「かからない」、また、インフルエンザを「うつさない」ための対策をしっかりと行いましょう。

クリスマスソング届け隊

「クリスマスソング届け隊」は、平成23年から始まり今年で6年目を迎えます。

この「クリスマスソング届け隊」は、ボランティア活動の一つであり、公立岩瀬病院に通院されている方や入院されている方にクリスマスの雰囲気を感じ、元気を出していただきたいという思いで看護学生が企画・運営をしています。患者さんやそのご家族に喜んでいただけそうな曲を選定し、昼休みや講義の合間に練習を重ねてまいりました。

今年は、サンタやトナカイ等の衣装を着た各学年30名の学生が、12月16日から12月23日の期間に1年生は栄養科主催のあいカフェ、2年生は各病棟、3年生は外来にて、クリスマスソングや名曲を披露しました。患者さんたちは手拍子や一緒に口ずさんだりする姿も見られ、一足早いクリスマスを味わっていただきました。また、「とても感動した。」「元気が出ました。」「一生忘れません。」等のお言葉や感動の涙が見られたり、アンコールの掛け声があったりして、看護学生の方が逆に患者さんから元気や勇気をいただいております。

看護学生は地域の患者さんのおかげで看護学実習とは違うかたちで、充実感を味わうことができ、それぞれに忘れられないひと時を過ごすことができました。







## ～「サービス付高齢者向け住宅(サ高住)」とは～

サービス付高齢者向け住宅(サ高住)とは、主に民間事業者などにより運営され都道府県単位で認可・登録されている住宅です。

居室の広さは原則25㎡以上でバリアフリー化されていることが基準となっています。また、安否確認・生活相談サービスがついており要介護認定のない方でも60歳以上であれば入居できます。身体状態に応じて食事の提供・訪問介護等介護保険でのサービスを受ける事もでき居住者のニーズに合った住まい方を選択できます。

サ高住は有料老人ホームと比較するとリーズナブルな価格帯の施設も多く幅が広いようです。特別養護老人ホームへの入居を待つ方が、一時的な住まいとして利用することも多いようです。

## 健康レシピ

お正月こっそりしたものを食べすぎた方へ

### 「白身魚のかぶら蒸し」

一人分 エネルギー/241kcal 蛋白質/17.8g 脂質/12.7g  
炭水化物/11.1g 塩分/1.6g



#### 《材 料》(2人分)

- ・白身魚の切り身(鯛など) 2切
- ・塩 少々
- ・酒 大きじ1
- ・ぎんなん(水煮) 4個
- ・にんじん 20g
- ・きくらげ (水で戻したもの) 少々
- ・みつば 少々
- ・かぶ(皮を剥いたもの) 2個(約120g)
- ・卵白 1/2個

#### 【あん】

- ・だし汁 100g
- ・しょうゆ 小さじ1強
- ・みりん 小さじ1
- ・酒 小さじ1
- ・塩 少々
- ・片栗粉 小さじ1 (小さじ2の水で溶いておく)

#### 作り方

- ①魚は半分に切り、塩と酒を振り、しばらく置いておく。
- ②ぎんなんは縦半分、きくらげは千切りにする。にんじんは型抜きにする。
- ③卵白はつのがたつまで泡立てしておく。
- ④かぶはすりおろし、水気を切って、泡立てておいた卵白と混ぜる。きくらげも加える。
- ⑤魚に③のをのせ、にんじん、ぎんなんも盛り付ける。
- ⑥蒸し器で10分程度蒸す。  
(電子レンジの場合はラップをかけ、500Wで様子を見ながら10～15分程度蒸す。)
- ⑦鍋にAを煮立て、水溶き片栗粉でとろみをつける。
- ⑧魚を盛り付け、あんをかけ、みつばを添える。



かぶら蒸しとは、かぶと卵白の白さを雪に見立てた料理です。

すりおろしたかぶを具材の上に乗せて蒸し、とろりとした熱々のあんをかけていただきます。魚は白身魚なら何でもかまいません。かぶは胃腸を温め、冷え性の改善が期待できる食材です。また、かぶに含まれる、酵素のジアスターゼは炭水化物(芋や米など)の消化を助ける効果があります。

心も体も温まる料理ですので、さむい季節、ご家庭でゆつくりお楽しみください。

編集・発行 公立岩瀬病院 広報委員会(広報誌発行部会)

〒962-8503 福島県須賀川市北町20番地

Tel 0248-75-3111 Fax 0248-73-2417 E-mail koho@iwase-hp.jp